



こーひーぶれいく

蛾の舞を求めて

船元 祐亮

Funamoto Yusuke

とある縁で筆者の趣味である蛾の採集について語れる機会をいただきました。蝶じゃなくて蛾？と思う方もいるかもしれません。小学生あたりまでは甲虫類が好きで採集していました。ある時、知人から「蛾を集めてみないか？」と誘われ、蛾に興味を持つ人もいなかったもので、試しに蛾を集めてみると、種類の多さ、同じ種類でも異なる模様の翅を持つ蛾、他の昆虫に擬態している蛾等、多種多様な蛾を見ることができ、これがなかなかどうして面白く、いつの間にか底の見えない沼にハマっていき、今に至ります。蛾といえば、鱗粉に毒があるとか蝶と比べると地味な色が多いとかイメージされがちですが、実際には、成虫になった後で毒を持つ蛾はあまりいない他、見た目も前翅は地味なものの後翅が鮮やかで綺麗な蛾が多いです。ちなみに蜂や体内に毒を持つ蝶（ジャコウアゲハ）等にも擬態している蛾も当然いるわけなのですが、それはまた別の機会にいたします。

さて、蛾の採集を趣味にしているわけなので、筆者の採集方法とは言うところ、光源の無い山奥に友人と出向き、白い布を吊るし、その周りに高輝度放電ライト（水銀灯等）、ブラックライト、蛍光灯等を設置し、光で集めるライトトラップと呼ばれる方法で採集しています。写真1は実際にライトトラップを設置し、昆虫が集まってきた様子です。この時は気候条件等が悪く、比較的、集まりが悪い方ですが、条件が良く、白い布が黒くなった時には満面の笑みになります。蛾以外にも夏であれば当然カブトムシ、クワガタ、カミキリムシといった甲虫類が見られる他、水辺近くではタガメ、ゲンゴロウ、ガムシ等の水生昆虫も運が良ければ見ることができます。光源



写真1 ライトトラップの様子



写真2 上：シロシタバ、下：エゾシモフリスズメ

の無い山奥で採集しているわけなので、傍からみると怪しい儀式的集まりと勘違いされそうですが、意外にも人の出入りが多く、生態調査、環境調査等で来る人やカブトムシやクワガタの採集で来る人もいます。筆者らはカブトムシやクワガタに一切興味が無いので、それらが目的の方にお裾分けする等して、意外なところで他の「虫屋」さんたちと交流できるのも醍醐味です。

採集した蛾はきちんと採集記録を残すためにも最後に展翅（昆虫の翅を左右対称に広げて固定し乾燥させる作業）をして、標本にします（写真2）。

ちなみに山奥の街灯やパーキングエリア、コンビニを周るだけでもカブトムシ、クワガタや色んな昆虫を見ることができますので、皆様もこの夏、街灯周りをして、色んな昆虫を観察してみたいはいかがでしょうか。

（株式会社千代田テクノル）